

会計学科創設40周年・会計教育90周年記念

商学部・会計学研究所共催で記念講演会

今年で創設40周年を迎える商学部会計学科。計理の専修と呼ばれていた旧計理科の時代を加える90年以上、会計の専門教育が続けられてきた。日本の大学の中でも伝統ある学科として成長している。記念行事の一環として、6月3日、生田キャンパスで会計学研究所(所長柳裕治教授)との共催による記念講演会が行われ、学生・院生・教員約500人が聴き入った。講師の齋藤静樹教授(東京大学名誉教授)は、企業会計基準委員会初代委員長として、わが国会計基準の国際化に取り組み、今回のテーマには最もふさわしい講師と言える。講演では、戦後における日本の会計制度改革は、前世紀末から今世紀初頭にかけての集中的な会計基準改革(いわゆる特別講義が行われる)は、10月21日には、記念大会が行われ、安藤英義商学部教授(企業会計審議会会長)の記念講演「会計と法制度」、経営相談会・年金相談会、記念展示「会計学のあゆみ」が行われる予定。

会計基準の現状と課題



齋藤 静樹教授が講演

会計ビッグ・バン)により、米欧とほぼ同等レベルに到達したと切り出し、今後は、会計基準統合(コンバーゼンス)の米欧の動向の注視・資産負債の観点と利益情報開示の関係・公正価値の適用範囲が会計基準の検

50回目を迎えた育友会支部懇談会

68支部(64会場)で開催



50回目の「育友会支部懇談会」が全国68支部(64会場)で開催されます。また、札幌・富山・青森・仙台・秋田・宇都宮・さいたま・長岡・山梨・岐阜の10会場では、支部懇談会終了後、受験生・保護者のための進学相談会が行われます。なお、支部懇談会は所属支部以外の地域でも出席可能です。詳細は「支部懇談会ガイド2008」をご覧ください。 育友会03(3265)6299

支部懇談会 開催日程・会場一覧

Table with columns: 地区 (Region), 支部 (Branch), 開催日 (Date), 開始時間 (Start Time), 開催会場 (Venue). Lists 68 branches across various regions including Hokkaido, Tohoku, Kanto, Chubu, Kansai, and Kyushu.

自然科学研究所第11回公開講演会



毎回、満席となる人気の講演会

自然科学研究所(所長内藤豊昭教授)主催の公開講演会が7月5日に生田キャンパスで開催された。11回目となる今回の講演会では「素粒子と大宇宙」をテーマとし、物質の根源である極小の素粒子と極大の宇宙との関係について、クオークやニュートリノに関する歴史的な実験から最新の事実まで紹介した。最後に、吉田敬二氏を交え3講演が行われた。



吉田 敬二氏

素粒子と大宇宙に関する最新トピックス

玉名高校で柳教授が講演



会計学科創設40周年記念企画の一環として、柳裕治商学部教授(会計学研究所長)が、6月13日、玉名高校で、創立42年の進学校「久和基利校長」の依頼を受け、専ら大の進学者に「専修大学進学セミナー」をテーマに講演し、法試験の合格者がいる。

講演会終了後には、職員研修として「専大の教員生活・就職」をテーマに講演した。玉名高校は、創立42年の進学校「久和基利校長」の依頼を受け、専ら大の進学者に「専修大学進学セミナー」をテーマに講演し、法試験の合格者がいる。

まず、水崎高浩法法学部教授が「素粒子とはなんだろうか?」と題して、これから議論する世界のスケールについて紹介し、次に、小松原健・高工ネルギー加速器研究機構准

東アジア世界史研究センター 公開講座

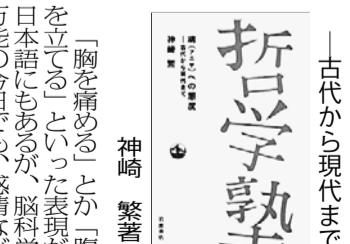
●留学生が通った道ともたらしたもの 日時: 7月26日(土)13:00~18:00 会場: 生田キャンパス10号館10103号教室 講師: 渡辺信一郎(京都府立大教授) / 中村太一(北海道教育大学釧路校准教授) / 柴原永遠男(大阪市立大学教授)

中小企業研究センター 国際コンファレンス

●アジア諸国の産業発展と中小企業 日時: 8月2日(土)9:30~17:30、3日(日)10:00~17:30 会場: 神田キャンパス7号館731号教室 講師: 黒瀬直宏(本学教授) / 山田伸顯(大田区産業振興協会専務理事、法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科客員教授) / ほか 共催: ウーロンゴン大学(オーストラリア)、マラ工科大学(マレーシア) (いずれも聴講無料) 社会知性開発研究センター ☎044-911-1347

法科大学院の入学ガイド

法科大学院の入学ガイドが完成しました。入手法等の詳細は各ホームページで確認ください。



折学塾主 神崎 繁著

「胸を痛める」とか「腹を立てる」といった表現が日本語にもあるが、脳科学の動きの多々を、われわれは脳ではなく身体各部と結びつけて考えている。同じように古代ギリシヤ人も、怒りや悲しみなど

専修人の新しい本

いま、働くということ 大庭 健著

「格差」が進み、労働環境が悪化しているいま、境が「まじめにコソコソと働いたところで報われない」という労働へのシニシズムが広がっている。本書では、指摘している。本書では、現代社会固有の労働事情に触れながら「人はなんのために働くのだろうか」とい

魂(アニメ)への態度 古代から現代まで

本書は、そうした心身の密接なつながりが、次第に「魂」という生命行為忠考の中心に集中していく一方、デカルトの「心身二元論」の登場によって、それが崩壊し、さらに現代において身体表現が再評価されるまでを、西欧の古代から現代の哲学的テキストのうち探ったもの。

著者(おおば・たけし) 文学部教授。主な担当は倫理学概論。

貧困と怒りのアメリカ南部 公民権運動への25年

本書は、1940年にアメリカ合衆国のミシシッピ州で「黒人」小作人の娘として生まれたアン・ムーディーの幼少期から大学卒業までが赤裸々につづられた『Coming of Age in Mississippi』(1968

アン・ムーディー著 樋口 映美 訳

本書は、1940年にアメリカ合衆国のミシシッピ州で「黒人」小作人の娘として生まれたアン・ムーディーの幼少期から大学卒業までが赤裸々につづられた『Coming of Age in Mississippi』(1968

アン・ムーディー著 樋口 映美 訳

本書は、1940年にアメリカ合衆国のミシシッピ州で「黒人」小作人の娘として生まれたアン・ムーディーの幼少期から大学卒業までが赤裸々につづられた『Coming of Age in Mississippi』(1968